

雰囲気はどう語るのか  
—本学女子ソフトボール部を対象として—

藤井 茉那美 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)  
指導教員 豊田 則成

キーワード：雰囲気、本学女子ソフトボール部，不穏な空気，不満，相互理解，

1. 緒言

本研究は、「本学女子ソフトボール選手は雰囲気はどう語るのか」というリサーチ・クエスチョン (Research Question: 以下 RQ) の下、雰囲気についての語りに着目した質的なアプローチを行い、そこから発展継承可能で有益な仮説的知見を導き出すことを目的とした。

2. 方法

インタビュー調査の対象となったインフォーマント (Informant: 情報提供者. 以下 Inf.) は、本学女子ソフトボール部に所属している選手 10 名 (Inf.A~J) であった。インタビューマニュアルを基に、一人あたり 45 分程度 (1 対 1 形式) の半構造化インタビューを実施した。

3. 結果

本研究は、左記の RQ の下、『自身の置かれている状況に気づくことで不穏な空気が流れているように感じ、そのことからチーム内でお互いを知ろうとする動きが芽生え、チームがまとまろうとする。そのことが、再び、自身の置かれている状況への気づきを促すというサイクルとして語られる』という仮説的知見が導き出された。Fig.1 参照。

4. まとめ

本研究から、自身の置かれている状況に気づき、不穏な空気が流れるからこそ、その空気を変えるために仲間同士を知ろうとする動きが起こり、チームがまとまろうとすることが明らかになった。

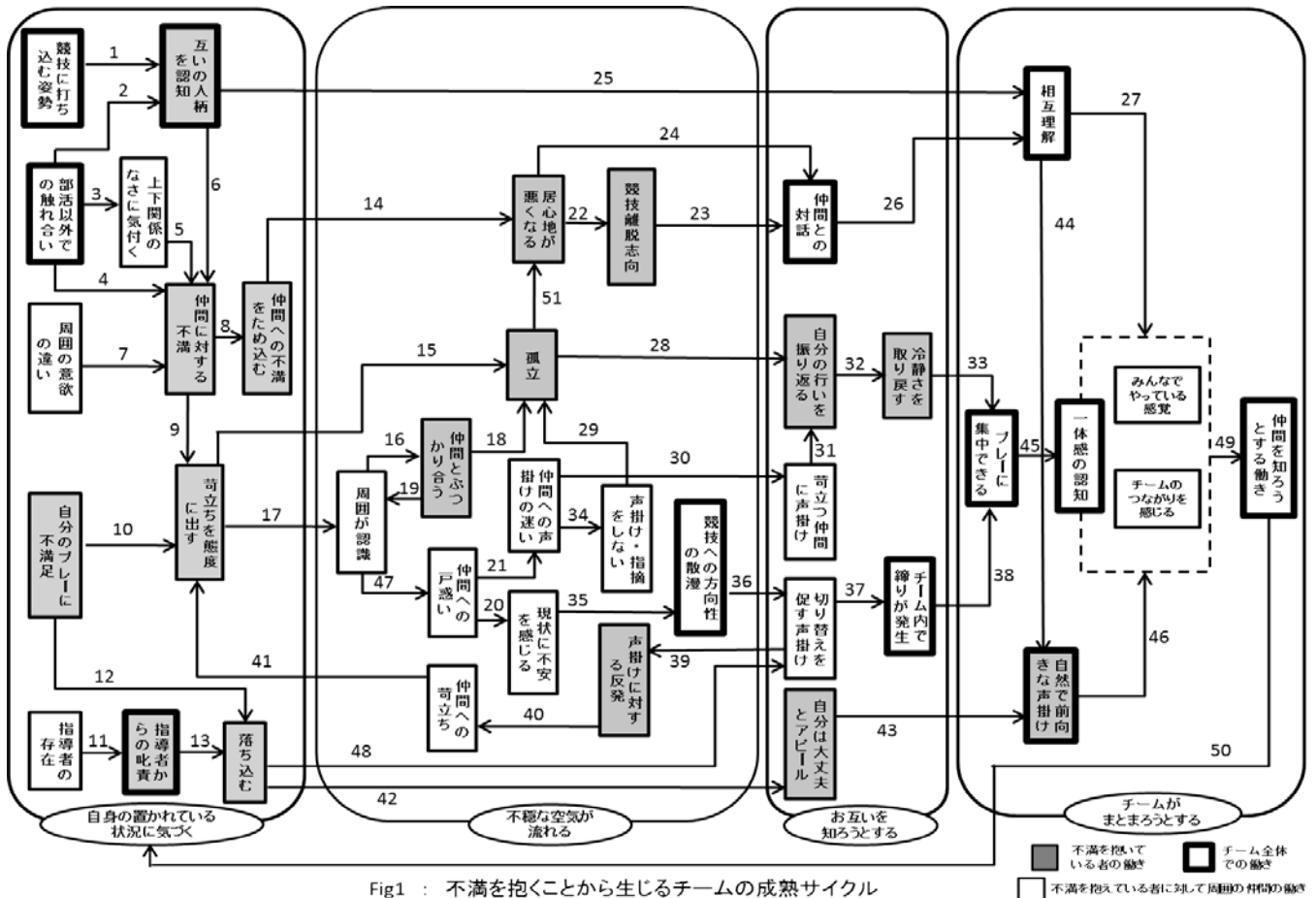


Fig1 : 不満を抱くことから生じるチームの成熟サイクル